

平成 24 年 7 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：42.5% DI 値：▲41.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：40.0% DI 値：▲27.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：45.0% DI 値：▲41.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 7 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲33.3	▲25.0	▲66.7	▲50.0	▲83.3	▲10.0	▲50.0	▲39.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲66.7	▲50.0	▲23.1	▲44.4	▲42.8	▲42.6	▲41.2
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	県内で、特に突出して良い地域は無く、皆、夏休み期間中の駅・サービスエリアでの売り上げ増を期待している。	パン・菓子製造業
	7月の速報値では▲4.7%と大きく前年割れした。この時期の主力魚種「萩の瀬つきあじ」が極端に不漁で、その他魚種についても全般に低調。価格相場高と商材不足が売上減少の原因と分析している。7/1開催の萩の瀬つきあじ祭りは集客1.3万人で昨年度同等の人出があった。	水産食料品製造業 萩市
	先月と変わらず資材関係の価格の上昇や食品関係原料の供給不安や価格高騰などに困っている。価格の転嫁が難しく、今後どの様にコストを抑えていくかが課題だが、難しい。	水産食料品製造業 下関市
	お中元需要は単価の安い物になっている。	
繊維工業	景気には変化が無いが、山口県知事選挙があったので、何かと賑やかであった。	帆布製品製造業
	7月も6月に続き受注減となった。国内生産品が売れないことから、国内は生産調整を継続する状況が続いている。9月までは今のまま操業短縮の予定であるが、10月以降も見通しはよくないと思われる。	下着類製造業
	震災復興の効果は出ていない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	先月同様、生産拠点が海外に移って、国内生産の生地や付属品等が間に合わず、仕事が出来ない状態が続いた。さらにこの暑さで消費も伸びず、追加生産がない。海外では時間的に間に合わない急な仕事で、小ロット生産をこなしている様な状態。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	全体的に流通・製造部門とも前月と変わらなかった。売上高の伸び悩みから、在庫数量が増加傾向にある。	製材業・木製品製造業 山口市
	国策により木材の供給量の増加がなされたが、川上から川下まで木材業界全体が供給過多になり、価格の低下を始めとする負のスパイラルに陥っている。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	胆管ガン問題の発生で、業界全体が重苦しい。	印刷 下関市
	7月は入札物件も少なく、特に頁物の受注がなく、工場の稼働率は低かった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材46%、路盤材71%、再生材78%、全体では55%。	砕石製造業

	<p>県全体の出荷量は前年同月比、前月比とも、岩国地区(基地関連工事の進展)の伸長により103%で前月と同じ傾向である。岩国、下関地区の出荷量は前年比、前月比とも上回っているものの、他の4地区は低調。これも前月と同じ傾向である。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。価格も安定して推移している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>地域によっては、売上が少し増加しているものの、全体としては良くない。</p>	石工品製造業
一般機器	<p>自動車設備関連、一部工作機械については引合が増えてきている。但し、納期及び価格については依然厳しく、利益確保が難しい状況。</p>	一般機械器具製造業 柳井市
	<p>新幹線の部品のオーダーが交渉の途中で中国に回されたりしており、受注に苦労している。</p>	一般機械器具製造業 周南市
	<p>円高、ユーロ安これに伴う中国の経済状況の不透明さ・不安定さが相まって元請企業の動きが鈍く、影響を受けている傘下組合員企業がある。組合員の中でも、そろそろ来年の計画に取り組みはじめ、機械設備を導入・取り付け工事を進めている企業もある。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>株安、円高の影響及び中国経済の先行きが不安。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>7月の設備操業度は5月、6月に続き上昇傾向ではあるが、8月以降はやや下がり気味になると思われる。仕事の絶対量からするとまだまだ受注の取り込みをしないとイケない。価格競争の中、いかに利益の出る体質に改善して行くかが今後の課題、特殊な金型で如何に付加価値を付けるかが重要となる。</p> <p>自動車メーカー、その他家電メーカーの海外への進出の流れで、市場の動きが変わって来ている。低価格、短納期対応で競争力を付けなければならない。国内生産は、円高の影響で海外生産へシフトしている。全てではないが、中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシア、インド、アメリカ、メキシコ、ロシア等の国々の名があがっている。今後も国内市場は今以上に厳しい状況が予想される。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>作業量の上積みが出来ず、作業時間・売上高とも減少傾向である。その上、新規物件の原価低減要請が厳しく、苦しい経営が続いている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>各業種とも売上高はやや増加傾向にあるも、収益環境はまだまだ厳しい。流通関係・食品関係ともやや回復基調にある。周南地区の大手化学企業は、増設や定期修理により今後の受注量の増加が見込める。特に9月～10月頃は定期修理の受注増により多忙</p>	各種商品卸売業 周南市

	となる。	
	猛暑が続き、夏物商品・飲料関係が若干ではあるが、伸びている。	各種商品卸売業 山口市
	各業種とも売上減、利益減の苦しい状況が続いており、一般経費及び固定経費の削減に努めているのが現状である。	各種商品卸売業 下関市
小売業	現在の化粧品専門店の顧客は高齢化しているため、資生堂が新しく始めたネット会員の獲得は大変難しい状況である。組合としても、会員の獲得を今後の課題として取り組んでいる。	化粧品小売業
	昨年は電気製品部門の節電・エコ製品、地デジ関連製品が大幅に伸びたが、その反動で、今年は大幅に減少し、また、単価の下落も目立っている。	各種商品小売業 山口市
	酒のディスカウント店が7月より入れ替わって営業している。中旬からは、競合店より安価でのセールを実施し、これまで以上の売上のようなのだが、既存の店舗は、売上、客数共に前年割れをしている。ヤマダ電機については、猛暑の影響もあり、エアコン等売上は順調の様子。	各種商品小売業 長門市
	退店のスピードが早く、入店が追い付かない。	各種商品小売業 下関市
商店街	2階に飲食店を併設した雑貨店が開店。また、8月には組合が約3分の1を出資するフィットネスクラブを開店する。女性専用のフィットネスクラブを希望したが、従来型の男女混合のフィットネスクラブの開店となる。人口の少ない山口では特化型の店舗開設は設置側にも不安があると推測される。いままで、物産店3店、飲食店1店を商店街に設置してきたが、商店街に人を呼び込むために、非物販を商店街の構成員として設置するもの。	山口市
	郊外大型店の開店以来、売上の減少が続き、最近になって多少回復したものの、開店前の数値には戻っていない。商店街の食品スーパーが7月31日に撤退。商店街の食品店が無くなると、今以上に状況が悪化するので、8月1日より組合員の出資会社が引き継ぎ経営をすることとなったが、販売戦略等課題が多く、新しく生まれ変わるのにも、苦労が多い。	萩市
サービス業	梅雨も上がり、暑くなってきたので髪カットの来店が多くなれば良いと思っている。例年、7月は梅雨時期で、売上が伸びない。	美容業
	特に変化は無い。	理容業

<p>エコカー補助金の予算が消化され、8月中旬には終了となる見通しである。補助金終了後の販売の落ち込みが懸念される。</p>	自動車整備業
<p>最近の猛暑により、車載エアコンの修理業務が好調にしている。エコカー減税も手伝って、好調を維持しているが、終了後はどうなるかわからない。ただ、前回のエコカー減税の終了時より、悪化具合は軽微なのではないかと思われる。</p>	
<p>どんどん厳しい状況になってきており、経営持続がきびしい状況にあるため、新しいビジネスモデルの模索中である。</p>	情報サービス業 宇部市
<p>秋以降の受注確保が進まないで、先行きが見えない状況。代替需要を追いかけて行くことが優先される。</p>	情報サービス業 萩市
<p>知事選挙の影響は小さかった。選挙時には飲食の需要が自粛され落ち込むのが通例だが、夏型の天気も幸いし全体的には通年平常ペースが維持できた模様。山口支部の料理店では、土用の丑の日を中心に高騰した価格にも係わらず、客足は絶えなかったという報告もあった。うなぎの仕入れ価格は2倍、販売価格は50%上乘せが出来、収益上は上々であったという。しっかりとした顧客管理の出来ている店舗はそれなりの情報発信と説明責任がなされており、地域共存の成果があらわれた結果と話している。</p> <p>新しい知事に期待する。知事が交代し、産業の活性化を標榜する知事が誕生する。飲食業界は人がいて、しっかり働いて、しっかり消費する構図が必要な業界だが、国政に対ししっかりとした山口県の意見を主張してくれる知事であってほしい。中小零細の意見をしっかりと聞き、皆で作り上げる県民力を期待する。</p>	飲食業
<p>宿泊客数が前年同月比で83%と、かなり動きが鈍い。</p>	旅館業 萩市
<p>今までに無いような悪い状況。狭い地域・県単位でも、今回の現状の厳しさは感じられた。</p> <p>人の流れがなく、夏休み効果も薄い中、売上は前年度を割っての運営。県内のどの地域の声を聞いても、一様に同じような内容の言葉が返ってくる。オリンピック・東京のスカイツリー等の影響もある。政治の閉塞感を早く払拭しないとこの状況は変わらないのでは。住宅関係の方と話したが、「自分の代で会社は終わる」というくらい明るい話題が無く、聞いていても辛い内容であった。</p>	旅館業 下関市

建設業	県・各市町とも公共工事（耐震工事）の発注があったが、工期に追われている。	鉄骨工事業
	中電への工事申請 6 月 2 9 4 件（当支部分 2 7 2 件）前年同月 2 9 4 件（同 2 2 4 件）。太陽光発電への申請 1 9 件、オール電化申請 1 9 件（前年は太陽光 2 5 件、オール電化 2 2 件）。LED 街路灯への切替・新設申請は 7 2 件（前年は 9 5 件）。	電気工事業
	公共工事は相変わらず低調。ほとんどがダンピング受注となっている。	土木工事業 柳井市
	2 4 年 7 月の受注高は、対前年同月比 2 2 7 %。今年度の累計は、対前年比 6 4 %。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、7 月中旬頃より鋼材・鉄筋等の動静が鈍化し、値下がりの傾向が見られ、物資価格等が不安定の様相であったが、後半より幾分の持ち直しが見られ、収受額は前年対比で不変となった。円高により油価格が下り運送業者は一息つける状況である。油関係は 6 . 6 円の値下げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	7 月も前年度に比すれば順調に推移、売上も伸びている。しかしながら、多くの荷主が合理化、集約化を進めてきており、今後の見通しは楽観視できない。製造拠点の集約化や配送方法・配送量等の合理化により絶対量が減少気味である。それに伴い拘束時間の問題も発生し、コンプライアンス対策に頭を抱える状況でもある。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運輸業についていえば、4 月は昨年同月比で 9 割までは回復してきたが、6 月は再び前年比で 8 6 % まで数値は悪くなってきており、7 月も同様の傾向が続いている。組合の中の会社で園芸用の土を販売している組合員企業は業績が回復している。得意先上位 2 0 社くらいの売上合計金額が低迷している組合員企業もある。このように好不況がまだ模様を表れている感じである。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	7 月中で天候状況の最悪日が 2 度、3 度と訪れ、九州地方の運行は最悪の状況であった。配送時間はかかるが、安全無事故運行を全運転者に強く要望したお陰で、無事故で乗り切れた。当組合の共同購入軽油価格は、1 0 当たり：1 1 2 円であり、一般価格をかなり下回った価格となっており、経営の苦しい中での燃料の値下がりは大変ありがたい。ただ、景気回復の気配が一向に感じられない。	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比マイナス12.6%（6月1日～7月20日分）と大幅に減少した。6月1日～30日分は▲13.1%の減少、7月1日～20日分も▲11.8%と大幅な減少が続いている。大手たばこ工場の撤退等もあるが、特定の得意先ではなく全体的に、利用単価が低下しており、加えて利用枚数も大幅に減少してる状況。現金利用客の減少はこれほどではないようだが、6月になってから地域の景気状況全体が、大幅に悪化しているのは間違いない。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。原油価格の下落とも関連し大幅に低下し、7月のタクシー会社の購入単価は前年比マイナス10%となりました。タクシー会社にとってはたいへんありがたい事だが、景気後退による需要減少の見込みが原因である模様。今年度は、国体による需要増加の見込み等、明るい事案が乏しい状況であり、地域景気的大幅後退が懸念される。加えて、消費税増税による国内景気の後退も大いに危惧される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
--	--	-------------------